

## PF 2.5GeV Ring 直線部改造と挿入光源 II

KEK-PF 山本 樹, 土屋公央

前回 (第 18 回) の PF シンポジウムにおいて、我々は現在検討中の PF 2.5GeV Ring 直線部改造計画における、挿入光源増強の基本的方針を提案した。それは：

1. 拡張される直線部を生かして、VUV-SX 領域において輝度を追求する、または偏光特性等について特徴ある光源を建設する、
2. 新設される 4 本の短直線部に短周期のアンジュレータを設置し、X線領域におけるアンジュレータ光源を実現する、
3. 既設アンジュレータを利用者の今日的な要求仕様に合わせて (第 1 項をふまへ) 適宜改造する。この改造と同時に、挿入光源の操作性を最新のものにアップグレードする、である。

今回は、この 1 年間の検討および実績に基づき上記の第 2 および 3 項について報告する。下図には短直線部に設置する短周期アンジュレータのスペクトル (Brilliance) を紹介する：Photon Factory News 最新号 (Vol.19 No.4) 参照。

